地域を守る工夫や思いに触れて

　社会科の「自然災害にそなえるまちづくり」の学習で、地域の方や区役所の方をお招きしてお話を聞きました。地域で行われている防災の工夫や、住民の安全を守るための日頃の取り組みについて具体的な事例を交えて教えていただき、子どもたちはメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。





　教科書で学んだ知識だけでなく、実際に地域で働く方々の生の言葉に触れることで、防災への関心がより一層高まったようです。「自分たちの生活は多くの人に支えられているんだね」と感心する声も聞かれ、地域社会への感謝の気持ちを持つ貴重な機会となりました。

　学習を通じて、いざという時に自分たちにできることは何かを深く考える様子が見られました。どのような避難場所や防災設備があるかなど、ぜひおうちでも地域の防災について話題にしてみてください。